

一筆啓上

作左通信

第四十五号 平成二十一年五月八日発行

総会と出版を祝う会の開催

平成二十年四月二十五日

(土)「一筆啓上・作左の会」

総会と「横山茂氏の出版を祝う会」が市民ホームで開催されました。今年の総会はこの会が発足した平成十一年十二月から数えて十年目の記念すべき年に当たります。

総会では、市川崇会長があいさつで、会員の継続と新会員の獲得、作左ゆかりの地視察旅行、短歌・俳句

の募集及び表彰の「ふるさと賞」については、地元中

心でいくという、会の基本的な方向が示されました。

続いて、昨年度の活動報告と役員の変更が行われ、

会長は引き続き市川崇氏が務めることになり、副会長には赤渋二区総代兵藤紀之氏が推薦され承認されました。

また、平成十三年から取りかかっていた『ふるさと

読本』は七月ごろには刷りあがり、会員に配本できる予定との説明がありました。来賓としてお忙しいなか衆議院議員、杉浦正健氏、六ツ美商工会会長、小泉素子様のご臨席を賜わり、それぞれお祝いのお言葉をいただきました。

総会に続いて、横山茂氏の『一筆啓上 家康と鬼の本多作左衛門』の出版を祝う会が開催されました。

横山茂さんから、この本が発刊できたのは地域の皆さんの応援・協力の賜物とお礼とともに本多作左衛門の魅力についてのお話がありました。

会員の皆さんには、本年度の事業に関してご協力・ご支援をお願いします。



あいさつする横山茂さん



市川崇会長のあいさつ